



平成 28 年 3 月 16 日
海 上 保 安 庁

「海難の現況と対策について」平成 27 年版のとりまとめ ～平成 27 年の船舶事故・人身事故ともに減少！！～

- 平成 27 年の船舶事故隻数は、対前年比 1 % 減の 2,137 隻。うち死者・行方不明者数は対前年比 52% 減の 48 名。いずれも平成 13 年から開始した統計手法では最少。
- 平成 27 年の人身事故(※)者数は、対前年比 4 % 減の 2,633 名。うち死者・行方不明者数は対前年比 4 % 減の 1,108 名。いずれも減少傾向。

(※)船舶事故以外の乗船中の事故及び海浜事故

【平成 27 年における事故の特徴】

○船舶事故の特徴

- ・小型船舶による事故隻数 (1,597 隻) が船舶事故全体の約 8 割 (75%) を占めている
※小型船舶: プレジャーボート (935 隻)、漁船 (601 隻)、遊漁船 (61 隻)
- ・小型船舶による事故の種類は、「機関故障」、「燃料欠乏」、「バッテリー過放電」が全体のうち約 2 割、「衝突」が全体の約 2 割を占めている

○人身事故の特徴

- ・事故者数、死者・行方不明者数ともに減少傾向
- ・マリンレジャーに関する海浜事故
死者・行方不明者の約 8 割が遊泳中、釣り中によるもの

*具体的な内容については、海上保安庁ホームページ

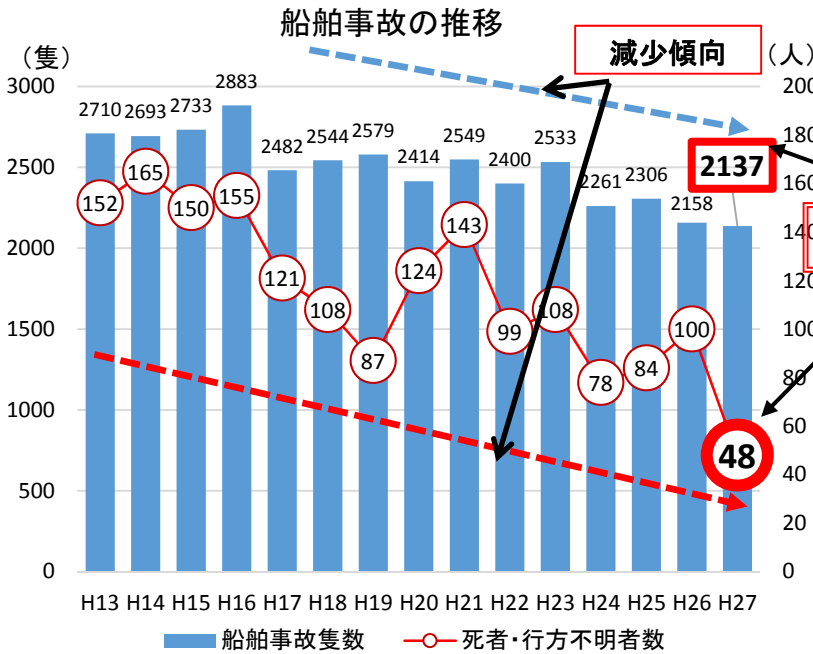
(<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/h28/k20160316/k160316-2.pdf>)

「海難の現況と対策 (平成 27 年 1 月～12 月)」をご参照下さい。

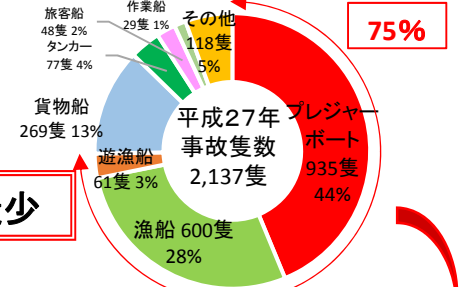
平成27年における事故の特徴

○船舶海難の特徴

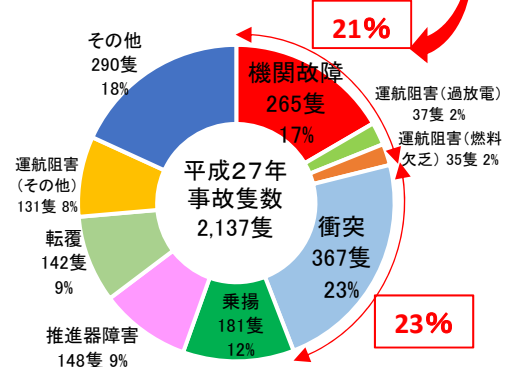
- ◇事故隻数、死者・行方不明者数ともに平成13年から開始した統計手法では**最少**
- ◇小型船舶による事故が全体の**約8割**
- ◇小型船舶の事故種類は、「機関故障」、「燃料欠乏」、「バッテリー過放電」が**約2割**、「衝突」が**約2割**



船舶種類別の割合

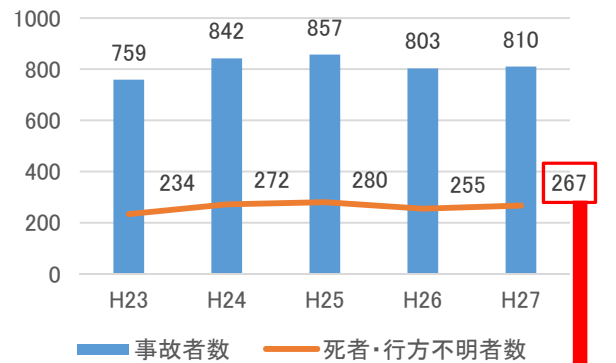
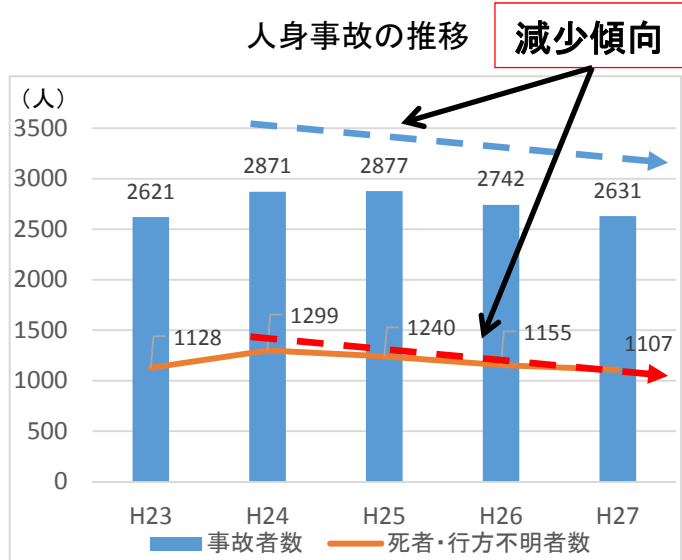


事故種類別の割合

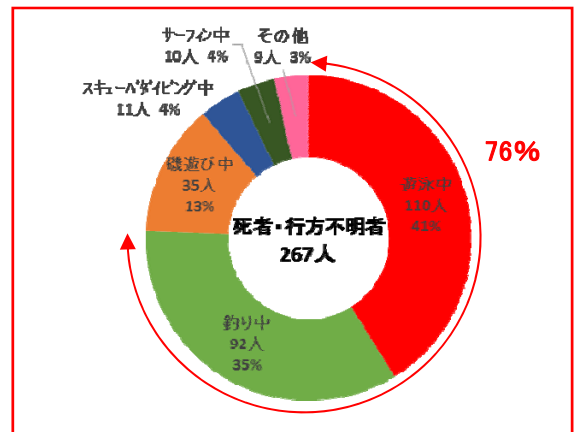


○人身事故の特徴

- ◇事故者、死者・行方不明者ともに**減少傾向**
- ◇マリナーに関する海浜事故の死者・行方不明者の**約8割**が遊泳中、釣り中によるもの



【マリナーに関する海浜事故者数及び死者・行方不明者数の推移（過去5年間）】



【人身事故者数及び死者・行方不明者数の推移（過去5年間）】